

都市の景観・イメージ 通りについて

平和大通り







すっきりとした都市景観









西村内科





フラワーフェスティバルFF

にぎわい
(瞬時的)







豊かな緑空間

The background features a dark gray, semi-circular grid pattern that resembles a map or a technical drawing. The grid lines are thin and light gray, creating a sense of depth and structure. In the lower-left quadrant, there is a small, dark gray circular shape, possibly representing a tree or a central feature in a park layout. The overall aesthetic is clean and modern, with a focus on geometric forms and a muted color palette.











活用のきざし

朝市の常設

- ◆ 平成15年度（2003年度）に、農家団体・JA・地元町内会などとの協働で朝市を試験開設しました。
- ◆ 平成16年度（2004年度）は1年間を通じた社会実験を行い、平成17年度（2005年度）以降の常設を目指します。



平和大通り活性化プロジェクト

平和大通りのオープンカフェ

- ◆ 平成8年(1996年)～平成10年(1998年)、広島青年会議所が「広島文化デザイン会議」開催期間中のイベントとして無料カフェテラスを実施
- ◆ 平成10年(1998年)8月～9月、飲食業等の同業組合、ホテル旅館組合、広島市等で組織する実行委員会が社会実験として実施
- ◆ 平成11年(1999年)～平成13年(2001年)、上記社会実験の規模及び期間を拡大し、広島市観光協会が民間企業に運営を委託して実施



平和大通りでのにぎわい創出

2004年(平成16年)5月2日

平和大通り
リニューアル

「にぎわいに2地区」

広島市 歩道広げ屋台・カフェ

広島市は二十一日、平和大通りの中区の二地区を「にぎわい創出モデル地区」に指定することを明らかにした。副道の歩行者天国化や緑地・歩道の拡大などにより、屋台やオープンカフェなどを呼び込む構想。平和大通りリニューアル事業の一環で、本年度は地元協議を進め、来年度からの具現化を目指す。

指定地区は広島クリスタルプラザ(中町)前の延長約百三十メートル、NHKビル(大手町)二

前の約百メートルで、いずれも平和大通り北側の沿道部分が対象。近くに商業施設や企業が集中し、多くの人を集めやすいことなどから選んだ。

計画では歩道を現在の五・五メートルから七メートルに、緑地を二・五メートルから約二・五メートルに拡大し、幅四メートルの路上駐車場は廃止する。また、NHKビル前の幅六メートルの副道を五メートルに狭め、クリスタルプラザ前については車両通行止めとする方向で、地元などと協議している。

「にぎわい創出の方法としては、屋台やオープンカフェ、フリーマーケット、大道芸の定期開催などを予定。商店街や企業などの地元関係者、まちづくり市民団体などと、具体的なアイデアや運営方法を考える組織を立ち上げる。

市は二〇〇二年十月、前年に公募した市民委員の意見を受け、リニューアル事業の基本方針を作成した。沿道のにぎわい創出と、平和、西平和、緑の三大橋の架け替えが柱。橋の架け替えは、民間資金を活用した社会資本整備(PFI)などの導入検討が難航しているため、にぎわい創出を先行させた。

5/2

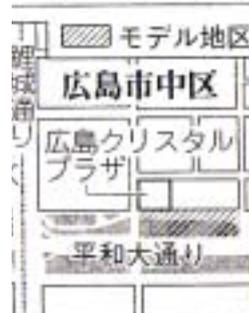
平和大通り リニューアル

「にぎわい」に2地区

広島市 歩道広げ屋台・カフェ

広島市は二十一日、平和大通りの中区の二地区を「にぎわい創出モデル地区」に指定することを明らかにした。副道の歩行者天国化や緑地・歩道の拡大などにより、屋台やオープンカフェなどを呼び込む構想。平和大通りリニューアル事業の一環で、本年度は地元協議を進め、来年度からの具体化を目指す。

指定地区
タルプラザ
延長約百三
NHKビル



（目）前の約百メートル間で、いずれも平和大通り北側の沿道部分が対象。近くに商業施設や企業が集中し、多くの人を集めやすいことなどから選んだ。

計画では歩道を現在の五・五メートルから七メートルに、緑地を二・五メートルから約二・二メートルに拡張し、幅四メートルの路上駐車場は廃止する。また、NHKビル前の幅六メートルの副道を五十センチ狭め、クリスタルプラザ前については車両通行止めとする方向で、地元などと協議している。

にぎわい創出の方法としては、屋台やオープンフリーマーケットの定期開催など。商店街や企業関係者、まち

づくり市民団体などと、具体的なアイデアや運営方法を考える組織を立ち上げる。

市は二〇〇二年十月、前年に公募した市民委員の意見を受け、リニューアル事業の基本方針を作成した。沿道のにぎわい創出と、平和、西平和、緑の三大橋の架け替えが柱。橋の架け替えは、民間資金を活用した社会資本整備（PFI）などの導入検討が難航しているため、にぎわい創出を先行させた。



平和大通りの景観を意識した店舗





他の通り











